

編集後記

現在、梅雨のまったただ中ですが、雨がほとんど降らず、あるダムの貯水量が激減！という報道も流れています。昨年は梅雨前線の活発な活動と時期外れの台風で集中豪雨による被害が多発したことを考えると、平穩無事はなかなか難しいものです。

一方、街中では「クールビズ」という言葉が氾濫しています。暑い中をまだ不慣れなノーネクタイで歩く姿も目立ってきました。ちなみに本委員会も6月より「クールビズ」となりました。本年2月16日の京都議定書発効、「チーム・マイナス6%」、企業の社会的責任（Corporate Social Responsibility）の一環として各企業の環境配慮が活発化、等々、「環境」に対する意識を高める背景と活動が奏功している結果かと思えます。

このような「環境」特に「気候変動」に対する意識が高まる中で、7月号では今年度の中心課題である「大気環境（排ガス関連）」を中心に取上げました。建設施工における行政機関、機械メーカー、ゼネコン、専門工事業者等の方々の「環境」に

対する取組みを紹介しました。

気候変動と言えば、昨年公開で若干古いですが、「The Day After Tomorrow[®]」という映画をご覧になられた方も多いと思います。この映画では地球温暖化に伴う異常気象が加速度的に発生した状況を描いていました。その時代に生きている人にとっては微分値が小さく変化を感じとれないが、あるスレッショールドを超えた途端に加速度的に顕在化するというのは往々にして起こり得ることで、ゾッとしたのは私だけではないと思います。

奇しくも現在NHKの大河ドラマで放映されている武家政権設立に至る過程も、急激な変化はほんの10年ほどですが、一所懸命の武士の不満は平安時代から延々と蓄積されてきました。人間界においても加速度的な顕在化は起こりうるものです。

現在を生きている私たちも「ゆでがえる」にならないよう次世代の人たちのことを考えた環境への取組みを各人が遂行していきたいものです。

最後に、ご多忙中にもかかわらず、執筆頂きました方々にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

(三柳・岩本)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 直史
渡邊 和夫	

編集委員長

村松 敏光

編集委員

清水 純	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
西園 勝秀	国土交通省
照井 敏弘	農林水産省
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
軍記 伸一	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
平子 啓二	水資源機構
吉村 豊	電源開発
松本 敏雄	鹿島
和田 一知	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キャタピラー三菱
芳賀由紀夫	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
内田 克巳	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
斉藤 徹	NIPPO
梅本 慶三	ハザマ
三柳 直毅	日立建機
岡本 直樹	山崎建設
庄中 憲	施工技術総合研究所

8月号「解体・再生工法」特集（予告）

- ・行政情報 再生コンクリートのJIS化
- ・橋梁1スパンを1日で解体—リフト工法—
- ・焼却施設解体時のダイオキシン除去システム
- ・布引ダム堤体補強工事
- ・鋼斜張橋（かもめ大橋）における地盤沈下および車両大型化に対する補強工事
- ・PC斜張橋（集鹿大橋）の修復工事
- ・鉄道高架下を快適空間に再生—ゆれナイト工法—
- ・使用済み発泡スチロール（EPS）再利用の吸音板利用技術

No.665 「建設の施工企画」 2005年7月号

〔定価〕1部840円（本体800円）
年間購読料9,000円

平成17年7月20日印刷

平成17年7月25日発行（毎月1回25日発行）

編集兼発行人 小野 和日児

印刷所 株式会社 技報堂

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支	部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-8-20	電話 (092) 741-9380